

市町村名	南風原町								
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	2－⑥	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(1)－(ウ)			
	経済建設部　まちづくり振興課			事業実施 (予定)年度	令和1～令和6年度	商店街・中心市街地の活性化と 商業の振興			
担当部課名					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、照屋地区は都市計画変更に係る図書の作成を進め、関係機関との協議に入る。また、津嘉山地区については地権者組織の立ち上げに向け、勉強会、意見交換会を重ねた上で整備計画図を策定し、具体的に計画を実現する事で産業振興の発展に寄与する。								
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和5年度以降）								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）								
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,224	4,895	3,982	6,310			
		(b) 予算現額	3,850	4,510	3,520	5,610			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 374	▲ 385	▲ 462	▲ 700	0		
		(d) 繰越額	—	—	0	0	5,610		
		A. 計 (b+d)	3,850	4,510	3,520	5,610	5,610		
	B. 執行済額		3,850	4,510	3,520	0	5,610		
	うち交付金充当額		3,080	3,608	2,816		4,488		
	次年度繰越額		0	0	0	5,610			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明		増減額▲700千円は入札残によるものである。							
活動目標 （指標） 及び達成状況	R4活動目標（指標）			達成状況					
				R4年度					
	照屋地区：都市計画決定に向けた図書作成	目 標	（ 図書作成 ）	（	）	（	）		
		実 績	図書作成完了						
	津嘉山地区：整備計画図の検討	目 標	（ 計画図検討 ）	（	）	（	）		
		実 績	計画図検討済						
達成 状 況 説 明	・南風原南インターチェンジ周辺の照屋地区について都市計画決定に係る図書を策定する事ができた。 ・津嘉山地区については整備手法の検討を行うことができた。								
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R4年度			目標値 （5年度）	
	照屋地区：都市計画決定の図書作成完了	目 標	（	）	（ 図書作成完了 ）	（	）	（	）
		実 績			図書作成完了				
	津嘉山地区：整備計画図の策定完了	目 標	（	）	（ 策定 ）	（	）	（	）
		実 績			策定				
	【R5成果目標】 企業誘致2社以上	目 標	（	）	（	）	（	）	（ 2社 ）
		実 績							
	進 捗 状 況 説 明	本地区の地理的特性を活かし、照屋地区については、都市計画決定に係る図書を策定し関係機関と協議を行う事ができた。津嘉山地区についてはまちづくりの推進における課題を踏まえた上で整備手法の検討を行う事ができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・照屋地区については、準備組合側が事業区域を決定するのに時間を要し、都市計画決定図書作成が遅れ繰り越し事業となったが、その後はスムーズが取り組みが出来た。引き続き準備組合とは作業の遅れが生じないよう、密に協議調整を行い連携を図る必要がある。 ・津嘉山地区については、全体面積が大きいため、エリアを分けた上で、それぞれの整備手法を検討する必要がある。	・照屋地区にいては、準備組合の委員会を開催し、連携を図る。 ・津嘉山地区については、3つのエリアに分けて段階的に土地利用の実現を図る。
今後の取り組み方針		
・照屋地区については、都市計画決定作業を進め土地利用の早期実現に向けて取り組み、企業誘致、産業振興の発展に繋げていく。 ・津嘉山地区では北、南、中央の3つのエリアに分けそれぞれのエリアに応じた整備手法を検討し、段階的に土地利用の転換を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,610	5,610	4,488	1,122	0

南風原町
5,610千円

委託料
5,610千円

日本工営都市空間 株式会社
5,610千円

令和4年度 南風原南インターチェンジ[®]周辺都
市計画決定図書作成支援業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、仕様書に基づき必要な費用を計上しており、適正な規模であった。 ○費目・使途については、仕様書のとおり実施されているので妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町							
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7－②	南風原町観光ルート安全対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－（4）－（ア）			
担当部課名	経済建設部 都市整備課	事業実施（予定）年度	令和４年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化		
事業内容	局地的豪雨による河川の氾濫等に伴い、浸水が想定される区域から観光客及び住民の初期避難を迅速に行うため、河川監視カメラを設置し、専用端末及び町のホームページ等を通じてカメラ映像や水位情報を発信し危機管理体制の強化を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R4年度	R4年度（繰越）				
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,130	－				
		(b) 予算現額	21,130	－				
		(c) 増減額 (b-a)	0	－	0			
		(d) 繰越額	0	15,850				
		A. 計 (b+d)	21,130	15,850	0			
	B. 執行済額		5,280	10,520				
	うち交付金充当額		4,224	8,416				
	次年度繰越額		15,850	0				
	執行率（％）(B/A)		25.0%	66.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		令和4年度は実施設計と資材価格調査を行い、実施設計は年度内完了、資材価格調査は令和5年度に繰越した。 令和5年度は資材価格調査と工事請負費を執行した。 事業費残額▲5,330千円は、カメラの設置台数が5基から4基へ減ったが監視の目的は達成しており、事業は適切に執行できた。						
活動目標（指標）及び達成状況	R4活動目標（指標）			達成状況				
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	河川監視カメラ5基の整備	目 標	5基	5基				
		実 績	0基	4基				
		目 標						
		実 績						
	達成状況説明	令和4年度に実施設計が完了し、工事請負費を令和5年度に繰越して事業を完了することができた。地域との調整によりカメラの設置台数が5基から4基へ減ったが監視の目的は達成しており、事業は適切に執行できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
	河川監視カメラ5基の整備完了	目 標	（ ）	（ 整備完了 ）	（ 整備完了 ）	（ ）	（ ）	
		実 績		設計完了	整備完了			
	【R5成果目標】 ホームページ上でリアルタイムの情報を発信し、河川浸水・氾濫による人的被害件数0件。	目 標	（ ）	（ ）	（ 0件 ）	（ ）	（ ）	
		実 績			0件			
	進捗状況説明	整備が完了し、河川の状況をホームページでリアルタイムに情報発信していることで、河川浸水や氾濫による人的被害件数は0件であった。地域との調整によりカメラの設置台数が5基から4基へ減ったが監視の目的は達成しており、事業は適切に執行できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	カメラの設置箇所にあたり、地域のプライバシーに配慮し、監視カメラが1基減となったが、河川監視の目的は達成することができた。	ホームページを閲覧できない方々や、警報音が届かない方々への情報発信の方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
河川の状態を町ホームページだけでは無く、消防等とも連携することで河川浸水や氾濫による人的被害件数がないよう努めていく。 また、観光施設や地域の公民館などで、河川の状態の情報発信していることを周知していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象 事業費</td><td colspan="2">交付金 充当額</td><td rowspan="2">交付対象 外経費</td></tr><tr><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td></tr><tr><td>15,800</td><td>15,800</td><td>12,640</td><td>3,160</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費	交付金 充当額	市町村 負担金	15,800	15,800	12,640	3,160	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費												
		交付金 充当額	市町村 負担金													
15,800	15,800	12,640	3,160	0												
南風原町 15,800千円 委託料 5,702千円 (株)邦エンジニアリング 5,280千円 (一財)建設物価調査会 沖縄支部 422千円 工事請負費 10,098千円 (資)久保田電設工業 10,098千円 宮平川監視カメラ等設置検討委託業務 河川監視カメラ整備に伴う 資材価格調査委託業務 宮平川監視カメラ整備工事																
資金 使途の 流れ、 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は▲5,330千円であるが、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														